

(一) 概 観

a. 學齡兒童總數中に於ける勞働兒童の比率

八歳より一四歳に至る學齡兒童（七歳にして就學したる者は除き、一四歳にして義務教育を終了したる者を含む）總數四七九名中勞働に従事するもの八五名あり、之を百分率に依りて示せば一七・八パーセントなりとす。更に教育程度別に觀察する時は、全學齡兒童に於いて不就學兒童は二七名にしてその中一二名勞働に従事し、中途退學兒童は二一名にしてその中一名勞働に従事す。在學兒童は三七七名中一二名勞働に従事し、卒業兒童は五四名中五一名勞働に従事す。尙性別、年齢別に示せば次の如し。

學齡兒童總數中ニ於ケル勞働兒童ノ比率表

小計	全兒童				年齢別		男	女	小計	百分率
	卒業	在學	中途退學	不就學	八歳	九歳				
三	一	三	一	二	男	八	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一〇	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一一	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一二	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一三	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一四	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一五	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一六	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一七	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一八	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一九	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	二〇	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	二一	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	二二	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	二三	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	二四	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	二五	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	二六	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	二七	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	二八	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	二九	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	三〇	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	三一	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	三二	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	三三	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	三四	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	三五	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	三六	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	三七	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	三八	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	三九	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	四〇	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	四一	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	四二	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	四三	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	四四	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	四五	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	四六	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	四七	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	四八	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	四九	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	五〇	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	五一	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	五二	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	五三	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	五四	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	五五	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	五六	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	五七	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	五八	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	五九	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	六〇	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	六一	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	六二	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	六三	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	六四	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	六五	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	六六	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	六七	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	六八	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	六九	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	七〇	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	七一	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	七二	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	七三	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	七四	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	七五	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	七六	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	七七	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	七八	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	七九	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	八〇	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	八一	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	八二	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	八三	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	八四	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	八五	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	八六	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	八七	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	八八	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	八九	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九〇	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九一	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九二	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九三	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九四	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九五	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九六	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九七	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九八	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	九九	女	一	一	
三	一	三	一	二	男	一〇〇	女	一	一	

計	労働児童				計
	小計	卒業	在学	中途退学	
一	一	一	一	一	三
二	二	一	一	一	五
三	三	一	一	二	七
三	二	一	一	三	七
七	二	一	二	二	七
三〇	一〇	六	二	一	一七
見	三六	三	三	一	四三
一	一	五	二	二	一〇
一	一	全			一
		一七八			

(二) 労働状態

a. 労働児童と職業

全労働児童二五四名中最低年齢者は八歳の女兒にして子守奉公中のものなり。又労働児童の最も多きは一四歳の四九名なりとす。今此等の労働児童を職業別に分類してみる時は、工業従事者最も多くその數一二六名(百分率四九・六)にして、公務自由業之に次ぎその數六四名(百分率二五・二)なり。家事使用人は三一人(百分率一二・二)、商業二五人(百分率九・八)、農業二人(百分率〇・八)、水産業一人(百分率〇・四)、交通業一人(百分率〇・四)にして其他の有業者四人(百分率一・六)あり。次に職業分類を更に細別して性別、年齢別との關係に於いて示さむ。

労働児童ノ職業別分類表

職業別	年齢別		計	百分率
	男	女		
	八歳	九歳		
農業	男	女	二	〇・八
	小計	計	二	
大建築業	男	女	一	
	小計	計	一	
建築業	男	女	三	
	小計	計	三	
建築具職	男	女	二	
	小計	計	二	
ハンギ職	男	女	二	
	小計	計	二	
電氣工場	男	女	三	
	小計	計	三	
印刷工	男	女	三	
	小計	計	三	
活版工	男	女	五	
	小計	計	五	
文選工	男	女	四	
	小計	計	四	
製圖工	男	女	一	
	小計	計	一	
検温器工	男	女	四	
	小計	計	四	
時計工	男	女	一	
	小計	計	一	
眼鏡工	男	女	一	
	小計	計	一	

計	一	二	三	三	七	三〇	四	四	四	五	一	一	計	右計
---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	----

b. 勞働兒童と賃銀

全勞働兒童を給料別に日給者と月給者として大別してみる時は前者一三三名にして後者一四一名（この中には無賃にして住込又は通勤する者、家職手傳の者、前借住込の者を含む）なり。

日給者に於いては最低賃銀は二〇錢以上三〇錢未満にして、最高賃銀は二圓を超過する者一名あり。最も多きは五〇錢以上六〇錢未満の者にして二二名（百分率一九・四）あり。概して一圓未満の者多く、一圓以上の賃銀を受くるものは一一三名中一八名にして百分率は六・六パーセントに過ぎず。此等の日給者は凡て通勤にして住込の者は一人も無し。

月給者に於いては全然賃銀を受けざるもの六三名（内、住込六一名、通勤二名）の外家職に従事して勞働する者二三名、前借住込の者一三名あり。以上九九名を除き残り四四名は最低月給五圓以上一〇圓未満（その數一四名）より最高月給六〇圓以上六五圓未満（その數一名）を受收す。最も多きは一五圓以上二〇圓未満にして一〇名あり。二〇圓以上二五圓未満の者六名之に次ぎ、一〇圓以上一五圓未満の者三名、二五圓以上三〇圓未満の者三名、四〇圓以上四五圓未満の者三名、四五圓以上五〇圓未満の者二名あり。此等は住込若くは通勤なりとす。

勞働兒童ノ賃銀別分類表

日給	給料別		性別	年齢別	賃銀別													小計	計	百分率
	無	通勤			一圓以上	一圓三錢以上	一圓五錢以上	二圓以上	三圓以上	四圓以上	五圓以上	六圓以上	七圓以上	八圓以上	九圓以上	一〇圓以上				
二〇錢未満	無	通勤	男	八歳	1														1	0.9
二〇錢以上			女	九歳		1													1	
三〇錢未満			男	一〇歳			1													
三〇錢以上			女	一〇歳				1												
四〇錢未満			男	一一歳					1											
四〇錢以上			女	一一歳						1										
五〇錢未満			男	一二歳							2									
五〇錢以上			女	一二歳							1									
六〇錢未満			男	一三歳							2									
六〇錢以上			女	一三歳							1									
七〇錢未満			男	一四歳							3									
七〇錢以上			女	一四歳							2									
八〇錢未満			男	一五歳							2									
八〇錢以上			女	一五歳							3									
九〇錢未満			男	一六歳							2									
九〇錢以上			女	一六歳							2									
一〇圓未満			男	一七歳							2									
一〇圓以上			女	一七歳							2									
一圓三錢未満			男	一八歳							2									
一圓三錢以上			女	一八歳							2									
一圓五錢未満			男	小計							1									
一圓五錢以上			女	計							1									
二圓未満			男	合計							1									
二圓以上			女	百分率							0.9									

内 容

一、一般調査

(一) 家 庭

- a. 調査世帯總數並町別分類……………三七頁
- b. 收入と世帯人員との關係……………三七頁
- c. 世帯人員と室數、疊數との關係……………三九頁
- d. 世帯主の職業と教育程度との關係……………四一頁

(二) 兒 童

- a. 調査兒童總數並性別年齢別分類……………四二頁
- b. 一世帯内に於ける兒童分布狀態……………四三頁

二、兒童發育狀態並教育狀態

(一) 概 観

- a. 兒童健康狀態……………四五頁

b. 兒童教育狀態……………	四六頁
(二) 世帯主の與ふる影響	
a. 世帯主の教育程度と兒童の教育状態との關係……………	四七頁
(三) 哺育状態と乳幼兒の健康	
a. 乳幼兒の乳兒期に於ける哺育状態と健康との關係……………	四九頁
三、兒童勞働状態	
(一) 概 觀	
a. 學齡兒童總數中に於ける勞働兒童の比率……………	五一頁
(二) 勞働状態	
a. 勞働兒童と職業……………	五二頁
b. 勞働兒童と賃銀……………	五三頁

二、一般調查

(一) 家庭

a. 調査世帯總數並町別分類

深川區東町、猿江町、猿江裏町に於ける有兒世帯中本調査にて取扱ひたる總數は六六七世帯にして其町別分類並百分比は左の如し。

調査世帯總數並町別分類表

世帯數	町別			計
	東町	猿江町	猿江裏町	
世帯總數	一七六	一二二	三七〇	六六七
百分比	二六・三八	一八・一四	五五・四七	一〇〇・〇〇

b. 収入と世帯人員との關係

全世帯六六七に於いて二〇〇圓以上の月收あるものは三九世帯(百分比五・八五)あり。此等は最低世帯人員を三人(その世帯數六)とし、最高世帯人員を二人(その世帯數一)とす。一方又失業中若くは無職にして何等定收なきものを見るにその世帯數實に一八(百分比二・七〇)あり。その最低世帯人員は二人(世帯數三)にして、最高世帯人員は七人(世帯數一)とす。収入の最も普通なる額は月收四五圓以上五〇圓以下にして、その世帯數一一一、百分比一六・六四を示す。

世帯人員に於いては二人を最低とし（その世帯数一九）一二人を最高とす（その世帯数一）。前者に於いては最低月収無収入の者三世帯、最高月収一四〇圓以上一六〇圓以下の者一世帯あり。後者に於いては二〇〇圓以上の月収を有する者として一世帯あるのみ。世帯人員の最も普通なるは三人世帯とし、四人世帯、五人世帯之に次ぐ。

収入ト世帯人員トノ關係一覽表（表中ノ數字ハ世帯數）

世帯人員別 収入別（月収）	二人	三人	四人	五人	六人	七人	八人	九人	一〇人	十一人	十二人	十三人	計	百分比
失業中又ハ 無職定收ナキモノ	三	四	五	二	三	一	一	一	一	一	一	一	一八	二・七〇
二〇〇圓以下	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	六	〇・九〇
二五圓同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	〇・三〇
三〇圓同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	〇・三〇
三五圓同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	〇・三〇
四〇圓同	三	七	三	四	二	一	一	一	一	一	一	一	一九	二・八五
四五圓同	一	一〇	九	二	一	一	一	一	一	一	一	一	二三	三・四五
五〇圓同	七	三九	三三	二〇	九	二	一	一	一	一	一	一	一一一	一六・六四
五五圓同	一	四	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一二	一・八〇
六〇圓同	一	三〇	一九	一三	二	二	一	一	一	一	一	一	六六	九・八九

六五圓同	一	七	四	一	三	二	一	一	一	一	一	一	一七	二・五五
七〇圓同	一	一七	一七	一一	三	五	二	一	一	一	一	一	五五	八・二四
八〇圓同	一	二三	一八	一二	一〇	五	一	一	一	一	一	一	六九	一〇・三四
九〇圓同	一	五	六	六	二	三	一	一	一	一	一	一	二三	三・四五
一〇〇圓同	一	二〇	一九	一四	五	五	一	一	一	一	一	一	六六	九・八九
一二〇圓同	一	七	六	六	九	四	一	一	一	一	一	一	三六	五・四〇
一四〇圓同	一	四	一	四	四	三	三	一	一	一	一	一	一八	二・七〇
一六〇圓同	一	八	一〇	一一	七	五	三	一	一	一	一	一	四七	七・〇五
一八〇圓同	一	一	三	三	一	三	一	一	一	一	一	一	一〇	一・五〇
二〇〇圓同	一	四	七	三	七	四	一	一	一	一	一	一	二六	三・九〇
二〇〇圓以上	一	六	九	三	五	七	四	一	一	一	一	一	三九	五・八五
計	一九	一九七	一七五	一一七	七三	五三	二一	七	三	一	一	一	六六七	一〇〇・〇〇
百分比	二・五	二〇・五	二六・〇	一七・五	九・四	七・九	三・五	一・〇	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

備考 不定労働者ノ月収ハ労働日數ヲ月三十日間トシ即チ日收ノ二十倍、定備者ハ二十五日トシ二十五倍ス。不在者及他家住込奉公中ノ者ハ家族人員ニ加算セズソノ月収ノミ收入額ニ加算セリ。

c. 世帯人員と室數、屋敷との關係

全世帯を室數別に觀察する時は、不明のもの一五世帯、一室住ひのもの二九八世帯、二室住ひのもの三

二七世帯、三室住ひのもの九五世帯、四室住ひのもの二一世帯、五室住ひのもの六世帯、六室住ひのもの三世帯、七室住ひのもの一世帯、九室住ひのもの一世帯なり。

疊数の最も少きは一室二疊住ひのものにしてその世帯數一、世帯人員三人なり。疊数の最も多きは五室七三疊住ひのものにしてその世帯數一、世帯人員九人とす。兩者共に全世帯に於ける百分比は〇・一五なり。

最低世帯人員二人のもの一九世帯は、四疊半住ひを最低とし、二六疊住ひを最高とす。最高世帯人員一人のもの一世帯は四室二五疊住ひとす。全世帯を單に室數疊數別に觀る時は一室六疊住ひのもの最も多くその世帯數一八一、百分比二七・一三を示し、之に次ぐは二室八疊住ひにしてその世帯數九八、百分比は一四・六九なりとす。

詳細は次表に就きて觀るべし。

d. 世帯主の職業と教育程度との関係

世帯主の職業は商業及工業最も多く、前者に従事するもの一八六人、後者に従事するもの一八三人にして、百分比は二七・八八及二七・四四を示す。戸内使用人は最も少く、その數二人、百分比は〇・三〇に過ぎず。

教育程度は尋小卒業最も多くその數四六七人、百分比六一・〇二を示す。中等學校を卒業したるものは一七人（百分比二・五五）にして、中等學校以上の教育を受けしもの三人（百分比〇・四五）あり。左に職業と教育程度との關係を表示す。

世帯主ノ職業別及教育程度一覽表

職業	教育程度		無職	不定	工業	土木建築	商業
	男	女					
不就業	1	1	1	1	1	1	1
尋小中退	1	1	1	1	1	1	1
尋小卒	1	1	1	1	1	1	1
高小卒	1	1	1	1	1	1	1
中等中退	1	1	1	1	1	1	1
中等卒業	1	1	1	1	1	1	1
中等以上	1	1	1	1	1	1	1
不明	1	1	1	1	1	1	1
小計	1	1	1	1	1	1	1
計	1	1	1	1	1	1	1
百分比	〇・六〇	〇・六〇	〇・六〇	〇・六〇	〇・六〇	〇・六〇	〇・六〇

交通運輸業	戸内使用人	其他	小計	計	百分比
一	一	六	二	七	二・五
五	一	一	六	五〇	七・〇〇
一	二	三	四	四七	六・〇二
一	一	四	一	一五	一・五七
二	一	一	一	九	一・一五
二	一	一	一	一七	二・一五
二	一	一	三	三	〇・三
八	一	二	七	五	八・八四
一	二	一	二	五	一〇・〇〇
一	二	九	二	三	三・六七
三	一	二	三	三	三・六七
九・四三	〇・三〇	一・五二	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇

(二) 兒童

a. 調査兒童總數並性別年齢別分類

前記六六七世帯に於ける兒童總數は、職業上他家へ奉公住込の者を加算して、數へ數一歳より十八歳までの者一、四八一人あり。その中男は七四九人にして女は七三二人とす。左に乳兒、幼兒、學齡兒及學齡以上の兒童と性別との分類を示す。

調査兒童總數及性別年齢別分類表

性別	年齢別					計	百分比
	一歳以下 (乳兒)	二歳—七歳 (幼兒)	八歳—十四歳 (學齡兒)	一五歳—一八歳	計		
男	六二	三〇三	二八一	一〇三	七四九	五〇・五七	
女	四九	三一八	二六九	九六	七三二	四九・四三	
計	一一一	六二一	五五〇	一九九	一、四八一	一〇〇・〇〇	
百分比	七・四九	四一・九三	三七・一三	一三・四四	一〇〇・〇〇		

b. 一世帯内に於ける兒童分布状態

兒童の總數は全世帯を通じて、他家奉公住込中の者を加算し、總計一、四八一人あり。その各世帯に於ける分布状態は一人を最低とし、九人を最高とす。世帯數は之に相反し、兒童一人を有する世帯最も多く二六〇世帯に及び、順次遞減して七人を有する世帯は僅かに三世帯にして八人を有する世帯は皆無、九人を有する世帯は只一世帯あるのみ。

一世帯内に於ける兒童分布状態一覽表

年齢別	一世帯内		計	百分比
	男	女		
一歳以下 (乳兒)	三	二	五	一・七五
二歳—七歳 (幼兒)	三三	三六	六九	二四・七二
八歳—十四歳 (學齡兒)	四〇	三三	七三	二六・五二
一五歳—一八歳	九	三	一二	一・五二
小計	三三	三三	六六	二四・五二
計	一三〇	一三〇	二六〇	一七・五五

年齢別	一世帯内		計	百分比
	男	女		
一歳以下 (乳兒)	三	二	五	一・七五
二歳—七歳 (幼兒)	三三	三六	六九	二四・七二
八歳—十四歳 (學齡兒)	四〇	三三	七三	二六・五二
一五歳—一八歳	九	三	一二	一・五二
小計	三三	三三	六六	二四・五二
計	一三〇	一三〇	二六〇	一七・五五

百分	比	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
四	三	一六	一	三	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七
五	三	一〇	九	四	三	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七
六	三	六	一	一	九	一六	二〇	二二	二八	三二	三八	四一	四四	四八	五二	五六	六〇	六四	六八	七二
七	三	三	一	一	五	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七
八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九	一	九	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
小計	一	一	三	兒	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
計	六七	一八	二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
百	分	比																		

二、兒童發育狀態並教育狀態

a. 兒童健康狀態

(一) 概 觀

兒童の健康狀態は概して良好にして兒童總數一、四八一人中健康兒一、四六九人(内、男七三六人、女七三三人)その百分比九九・一九にして虚弱兒は僅かに二人(内、男七人、女五人)その百分比は〇・八一を示すのみ。但し此に虚弱兒とは先天的羸弱なるものを指し、稍健なるもの又は普通の健康狀態にあるものは皆健康兒中に加算したり。次に性別、年齢分類を示さむ。

兒童健康別分類(性別、年齢別)表

計	小計		虚弱		健康		健否 年齢別	一歳以下 (乳兒)	二歳—七歳 (幼兒)	八歳—十四歳 (學齡兒)	十五歳—十八歳	計	百分比
	女	男	女	男	女	男							
一一一	四九	六二	一	一	四八	六二	(乳兒)					七三六	四九・六九
六二二	三三八	三〇三	二	一	三二六	三〇三	(幼兒)					七三三	四九・五〇
五五一	二六九	二八一	二	五	二六七	二七六	(學齡兒)					七	〇・四七
一九九	九六	一〇三	一	二	九六	一〇一	十五歳—十八歳					五	〇・三四
一、四八一	七三八	七四三					計					一、四八一	一〇〇・〇〇

百分比	七・四九	四一・九三	四七・一四	一三・四四	一〇〇・〇〇
-----	------	-------	-------	-------	--------

b. 兒童教育狀態

七歳より一八歳に至る兒童總數は八三五人にして、中、未就學の者六三人あり。不就學者は非常に少く僅かに二人あるのみなるも就學不明の者四四人あり。目下在學中のものは、尋常小學校に四八八人、高等小學校、中等學校及中等學校以上の學校に八三人あり、尋小、高小及中等の諸學校を卒業したる者は一三八人にして、中途退學者は、義務教育不終了の者一四人、高小、中等及中等以上の諸學校を退學したる者三人あり、百分比に依りて示す時は、尋小在學兒童五八・四四、高小、中等、中等以上の諸學校在學者九・八二、尋小、高小、中等諸學校卒業者一六・五二、尋小中途退學者一・六八、高小、中等、中等以上の諸學校中途退學者〇・三六、未就學兒童七・五四、不就學者〇・二四、不明五・四〇の割合なり。又同一學年在學中の兒童の年齢の開きに相當大なるものあるは注目に價す。中途退學者は尋常五年に最も多く、尋常四年、尋常六年、高等二年及中等以上の學校には全然なし。

